

れ い わ ね ん ど
令和2年度
が っ こ う ひ ょ う か し
学校評価のお知らせ



『3密対策をして たてとく囃子を披露』
たてとく祭 10月10日(土) 〈高等部〉



『がんばれ！ブルガリア新体操ナショナルチーム』
応援メッセージを書こう 10月20日(火) 〈中学部〉



届け応援の気持ち
楯岡特別支援学校生
ブルガリア選手に手紙
ブルガリア新体操ナショナルチームの選手を応援しようと、村山市の県立楯岡特別支援学校(伊藤順子校長・うさぐさこ)中等部の生徒25人が20日、手作りの手紙に取り組んだ。

【山形新聞から】

取り組みを説明。生徒らが作った「ベストをつた付した」「がんばれ」とメッセージの動画を観賞し、開演技の動画を観賞した。生徒たちは担当者や教員のアドバイスを受けながら手紙を作成。花の模様を付けた、市のキャラクター「ムラ」のイラストを貼

やまがたけんりつたておかとくべつしえんがっこう
山形県立楯岡特別支援学校

令和２年度学校評価アンケートの結果と改善策

山形県立楯岡特別支援学校

１ 令和２年度学校評価アンケートの実施について

（１）学校関係者評価〈保護者アンケート〉の実施

保護者アンケートは、記入していただいたアンケート用紙に封をしてご提出いただき、学校評価委員（３名）が直接開封して集計を行った。

（２）アンケート項目については、経年における変動が読み取れるように、これまでと同様の内容（※一部表現を変更）を継続して実施した。

（３）アンケート結果をもとに、校長を含めた学校評価委員会で、令和３年度に向けての考察と改善策を提案し学校運営に生かせるようにした。

（４）学校自己評価〈教職員アンケート〉は、アンケート項目を変更し、学校関係者評価〈保護者アンケート〉と同様な内容構成とし実施した。

（５）結果は保護者にお知らせするとともに、学校評議員会でも報告し、助言を受けるようにした。

２ アンケート結果

（１）学校関係者評価〈保護者アンケート〉

（４：よく当てはまる ３：やや当てはまる ２：あまり当てはまらない １：当てはまらない）【別紙集計結果参照】

① アンケートに際しては、保護者への依頼文書に加え、締切前に担任が呼びかけるなどを行い、１２１家庭中１１７家庭（９６．７％）の回答率であった。

② １０項目中、次の９項目で昨年度より評価の向上が見られる。特に□１・□２・□３・□７・□８は３．５ポイント以上の評価であり、今年度の成果と捉えることができる。

番号	設 問 内 容	評価
3	学校や学級担任は、お子さんの学校での様子をよく伝えてくれる。	3.67
2	学校や学級担任はお子さんの教育について、よく話を聞いてくれる。	3.62
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導がなされている。	3.62
1	お子さんは、学校に行くことを楽しく思っている。	3.60
7	清掃や施設設備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境になっている。	3.60
5	お子さんにとって、適切な学習目標が設定され、学習内容が「分かる」授業になるように工夫されている。	3.49
9	お子さんにとって意義のある交流学习、学校行事、校外学習等の企画・運営がなされている。	3.47
6	学校は、お子さんや保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や進路情報の提供に努めている。	3.43
10	本校の教育活動や児童生徒の活躍などについて、地域に情報発信されている。	3.29

③ 昨年度の評価を下回った□４に加えて、昨年度より評価が向上した上記□５・□６・□９・□１０も含め、３．５ポイント未満の項目が今後の課題である。

番号	設 問 内 容	評価
4	学習の足跡の掲示や参観の機会などが確保され、児童生徒の学習の様子が見える。	3.31

(2) 学校自己評価〈教職員アンケート〉

(4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない)【別紙集計結果参照】

① 3.0ポイント以上の23項目のうち、特に学校経営に関連して4項目に成果が見られる。

番号	設 問 内 容 (個:個人、全:全体)	評価
2	児童生徒の教育について、保護者の声に耳を傾け、児童生徒の学習や生活上の課題を共有している。(個)	3.40
12	授業研究会における助言や教育相談、学校参観等により、地域のセンター的機能を果たしている。(全)	3.39
3	保護者に、共有した学習課題を中心に、児童生徒の学校での様子や成長した姿についてよく伝えている。(全)	3.35
3	保護者に、共有した学習課題を中心に、児童生徒の学校での様子や成長した姿についてよく伝えている。(個)	3.33
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導を行っている。(個)	3.32

② 3.0ポイントを下回ったのは4項目であり、**13**については(個人)(全体)ともに下回っている。

番号	設 問 内 容	評価
9	交流及び共同学習、校外学習、学校行事等が、児童生徒にとって意義のある企画・運営になっている。(全体)	2.89
5	個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成・評価により、個に応じた「分かる」授業を実践している。(個人)	2.93
13	小(上・下学年)・中・高の協力や情報共有のもと、児童生徒理解や教育課程で一貫性のある指導ができています。(全体)	2.93
10	学校や本校児童生徒の理解のための地域社会への情報発信がなされている。(個人)	2.96
13	小(上・下学年)・中・高の協力や情報共有のもと、児童生徒理解や教育課程で一貫性のある指導ができています。(個人)	2.96

3 考察

(1) 学校関係者評価〈保護者アンケート〉と学校自己評価〈教職員アンケート〉の共通項目を比較すると、同様の評価結果となっており、両者が同じように感じており、ズレがないことがわかる。

(2) 学校自己評価〈教職員アンケート〉の各項目における「個人」と「全体」の評価を見ると、ほとんどの項目で差がなく同様の評価となっている。唯一、**12**の地域のセンター的機能については、実際に担当した教員が限定的であることから、「個人」(3.05)の評価が低くなったものの、組織としての取組が全職員で共有されており、地域のニーズに応じていると捉えている職員が多く、「全体」(3.39)の評価は良くなったと考えられる。

4 改善策

(1) 学校関係者評価〈保護者アンケート〉

① **4**について：新型コロナウイルスの影響で懇談会や行事、授業参観などを行うことができ

ず、保護者の方に、児童生徒の学習の様子等をご覧いただける機会を提供できなかった。今後もコロナ感染症の対応により参観等の機会が制限される場合は、おたよりやホームページ等で学習の様子等を丁寧にお伝えすると共に、作品等、校内の掲示物についても取り上げてお知らせしていく。

- ② [5]・[9]について：「児童生徒がチャレンジしたくなる授業づくり」を研究テーマとして、児童生徒が意欲的に取り組み、一人一人が分かる授業の工夫を積み重ねている。学習の意図やねらい、工夫等を保護者に積極的にお伝えし、理解していただけるように努める。また、行事等の企画・運営においては、児童生徒や保護者の思いを丁寧に把握しながら進めていく。
- ③ [6] について：進路の情報を更新し『進路の手引き』を改訂する。また、保護者研修会や保護者のニーズに応える「進路だより」等により、共通理解を図り連携しながら進路実現を目指すようにする。
- ④ [10] について：地域との交流を大切にし、行事への参加など活動する姿を通して情報を発信し、学校や障がいのある児童生徒の理解推進を目指す。メディアやホームページの活用、放課後支援施設への校長室便りの配付等、学校からの情報提供の充実を図り、学校と保護者・地域との距離を縮めていけるように努める。

(2) 学校自己評価〈教職員アンケート〉

- ① [9] について：新型コロナウイルスの影響で交流及び共同学習や校外学習、学校行事等の実施を控えたため低い評価となったと思われる。児童生徒の安心安全を最優先としながら、「新しい生活様式」を踏まえ、全職員で共通理解の基に工夫しながらオンライン交流も探り、児童生徒の学びの場を確保していく。
- ② [5]について：新しい学習指導要領への対応として新しい形式に取り組んだことで、戸惑いや疑問が生じたためと思われる。教務部の推進の基、新しい形式でPDCAを実践しながら検討を重ね全職員で理解を深めていく。
- ③ [10] について：コロナ禍で人と人との直接的な交流が制限される状況となり、改めて情報発信の重要性を感じる職員が多かった。より良い情報発信を考える中で、現状について低い評価となったと思われる。情報部を中心に見やすい分かりやすいホームページを目指していく。
- ④ [13] について：今年度は学部を越えての学習を控えることとなり、他学部の教育や児童生徒を理解する機会が減ってしまったことが、評価を下げた要因と思われる。「新しい生活様式」・3密対策を講じた上で、他学部との交流学習を設定し、互いの児童生徒の情報共有を行うと共に、他学部の学習への理解を深めるようにする。また、グループウェアを活用し学部間の情報交換を推進していく。

令和2年度 学校関係者評価(保護者アンケート集計結果)

山形県立楯岡特別支援学校

番号	設 問	0%20%40%60%80%100%	%				R2年度 平均	R1年度 平均
			4段階	3段階	2段階	1段階		
1	お子さんは、学校に行くことを楽しく思っている。		66%	29%	5%	0%	3.60	3.50
2	学校や学級担任はお子さんの教育について、よく話を聞いてくれる。		68%	27%	5%	0%	3.62	3.51
3	学校や学級担任は、お子さんの学校での様子をよく伝えてくれる。		69%	28%	3%	0%	3.67	3.54
4	学習の足跡の掲示や参観の機会などが確保され、児童生徒の学習の様子が見える。		47%	39%	14%	1%	3.31	3.40
5	お子さんにとって、適切な学習目標が設定され、学習内容が「分かる」授業になるように工夫されている。		57%	36%	8%	0%	3.49	3.32
6	学校は、お子さんや保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や進路情報の提供に努めている。		51%	41%	8%	0%	3.43	3.37
7	清掃や施設設備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境になっている。		63%	35%	1%	1%	3.60	3.57
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導がなされている。		65%	34%	1%	1%	3.62	3.58
9	お子さんにとって意義のある交流学习、学校行事、校外学習等の企画・運営がなされている。		55%	37%	8%	0%	3.47	3.33
10	本校の教育活動や児童生徒の活躍などについて、地域に情報発信されている。		44%	42%	12%	2%	3.29	3.10
■ 4 よく当てはまる ■ 3 やや当てはまる ■ 2 あまり当てはまらない ■ 1 当てはまらない							3.51	3.42

※1 アンケートの実施期間は、令和2年11月20日(金)から11月26日(木)まででした。

※2 10の質問項目に対し、4段階で評価していただきました。

(4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない)

※3 アンケートの回収件数は、117件(121家庭中)でした。

【保護者アンケート記述】

本校の教育について、御意見御感想をいただき感謝申し上げます。今後も職員一同、子ども達のより良い成長のために真摯な態度で取り組んで参ります。改善を要する御意見等には、回答を掲載させていただきました。

- 毎日の連絡ノートや学級だよりから、子どもがのびのびと学校生活を送れていることが大変よく伝わってきます。
- 何かあったときは電話でお伝えしてくださり、とても密に連絡が取りあえていると思います。ありがとうございます。
- 担任の先生が、子どもの性格をよく理解してくださっていて感謝しております。小さなことでも出来たらほめていただき、自分でできることが増えました。また、クラスメイトを思いやる優しい気持ちも育っており、うれしく思います。
- 校舎や教室がきれいで安心して学べる環境だと思いました。学部だより、連絡ノートでもやっている内容を子どもに聴くことができ、しっかり一つ一つやっているなと感じることがあります。先生方のアドバイス、御指導があり、家でもコミュニケーションをとるようにしています。
- コロナウイルスのため活動もいろいろと制限される中、工夫しながらたとく祭も実施していただきありがたく思っています。子どもが安全に学校生活を送れるように保護者、先生方が協力していかななくてはと、改めて思っています。
- 学校へ行く機会が減り、結果的に学校の様子が見えなくなっていました。こちらから情報を得ようとする気持ちも必要だと思いました。

【保護者と学校の連携】について

- コロナ禍で、担任と子どものことについて話すこと（一緒に考えること）が不足しているとの御意見をいただきました。お子さんのことで心配なことなどがありましたら、いつでも担任にお声がけください。お話を伺う機会を設けさせていただきます。今後も、保護者の皆様とのコミュニケーションを大事にしたいと考えております。

【進路・就労】について

- 就労先の確保や開拓の継続を要望する御意見をいただきました。次年度に、進路の情報を更新し改訂した『進路の手引き』を配付いたします。事業所や

企業の情報収集に努めると共に、事業所等を対象とした学校説明会を開催するなどにより、就労につながる取り組みを一層推進していきます。

【交流】について

○地域の学校との交流を増やしてほしいという御意見をいただきました。児童生徒の安心安全を最優先としながら、「新しい生活様式」を踏まえ対策を講じて交流の機会を確保していきます。村山産業高等学校との交流を全学部で計画実施して参ります。たてとく囃子や花壇の球根植え等これまで継続してきた交流を大切にしながら、子ども達同士が関わりを楽しみ理解し合える交流を実践していきます。また、小・中学部においては居住地校交流についても積極的に取り組んでいきます。

【個人情報保護】について

○個人情報の扱いに留意してほしいとの御意見をいただきました。個人情報の保護等につきましては、全職員で繰り返し確認しているところではありますが、今後も、具体的な事例を取り上げての研修を実施し、周知徹底を図って参ります。

【職員のあいさつや対応】について

○来校時の職員のあいさつや対応に関する御意見をいただきました。子ども達の手本となるべく、気持ちの良いあいさつ等を心がけておりますが、至らない部分があり申し訳ありません。このような御指摘が出ることをないように改善に努めて参ります。

いただいた御意見等をもとに、さらに「来るのが楽しみな学校」「安心して託せる学校」をめざし努力して参ります。今後も、保護者の皆様の御支援と御協力をよろしくお願いします。

令和2年度 学校自己評価(教職員アンケート集計結果)

山形県立楯岡特別支援学校

番号	内容			0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	4%	3%	2%	1%	R2 (平均)	
1	児童生徒が来なくなる、楽しい学校づくりをしている。※生徒指導・いじめ防止・ケース会も含む。	個人													33.3	63.0	3.7	0.0	3.30	
		全体													35.2	63.0	1.9	0.0	3.30	
2	児童生徒の教育について、保護者の声に耳を傾け、児童生徒の学習や生活上の課題を共有している。	個人													46.3	51.9	0.0	1.9	3.40	
		全体													33.3	64.8	1.9	0.0	3.30	
3	保護者に、共有した学習課題を中心に、児童生徒の学校での様子や成長した姿についてよく伝えている。	個人													37.0	61.1	0.0	1.9	3.33	
		全体													35.2	64.8	0.0	0.0	3.35	
4	学習の足跡の掲示や参観の機会等が確保され、児童生徒の学習の様子が見えるようにしている。	個人													14.8	74.1	9.3	1.9	3.02	
		全体													18.5	72.2	9.3	0.0	3.09	
5	個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成・評価により、個に応じた「分かる」授業を実践している。	個人													9.3	77.8	9.3	3.7	2.93	
		全体													7.4	88.9	3.7	0.0	3.04	
6	児童生徒や保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や進路情報の提供に努めている。	個人													25.9	72.2	0.0	1.9	3.23	
		全体													27.8	72.2	0.0	0.0	3.28	
7	清掃や施設設備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境にしている。	個人													29.6	70.4	0.0	0.0	3.30	
		全体													29.6	64.8	5.6	0.0	3.25	
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導を行っている。	個人													31.5	68.5	0.0	0.0	3.32	
		全体													25.9	74.1	0.0	0.0	3.26	
9	交流及び共同学習、校外学習、学校行事等が、児童生徒にとって意義のある企画・運営になっている。	個人													14.8	70.4	14.8	0.0	3.00	
		全体													13.0	74.1	13.0	0.0	2.98	
10	学校や本校児童生徒の理解のための地域社会への情報発信がなされている。	個人													11.1	75.9	11.1	1.9	2.96	
		全体													14.8	75.9	9.3	0.0	3.05	
11	校内研究による授業改善や自主研修、OJTに課題意識をもって取り組み、専門性向上を図っている。	個人													24.1	70.4	3.7	1.9	3.18	
		全体													29.6	68.5	1.9	0.0	3.28	
12	授業研究会における助言や教育相談、学校参観等により、地域のセンター的機能を果たしている。	個人													18.5	72.2	5.6	3.7	3.05	
		全体													38.9	61.1	0.0	0.0	3.39	
13	小(上・下学年)・中・高の協力や情報共有のもと、児童生徒理解や教育課程で一貫性のある指導ができてい	個人													7.4	83.3	7.4	1.9	2.96	
		全体													7.4	79.6	13.0	0.0	2.93	
14	職員のチームワークのもと、連携し支え合い、協働性を発揮して学校運営がなされている。	個人													31.5	66.7	1.9	0.0	3.30	
		全体													27.8	64.8	5.6	1.9	3.19	
15	行事の精選や会議の運営等、多忙感や負担感の解消に向けた取り組み等の働き方改革を推進している。	個人													16.7	79.6	0.0	3.7	3.09	
		全体													13.0	77.8	5.6	3.7	3.00	
																			平均	3.17